

小学校 外国語活動・外国語科

小学校で行うこれからの外国語教育とは？

外国語活動

- 活動型
- 3・4年生
- コミュニケーション力の素地の育成
- 聞くこと、話すこと [やりとり、発表]
- 体験的な活動が中心
- 日本語と外国語の音声の違いへの気付き
- 音声や表現、アルファベット文字への慣れ親しみ
- 聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う

外国語科

- 教科型
- 5・6年生
- コミュニケーション力の基礎の育成
- 聞くこと、話すこと [やりとり、発表]、読むこと、書くこと
- 文字、単語、語順などについて日本語と外国語の違いへの気付き
- 読むこと、書くことへの慣れ親しみ
- 聞いたり話したり読んだり書いたりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う

これまで、中学校1年生から始まる英語の「読む」「書く」学習活動が、生徒にとってハードルが高いという課題がありました。5・6年生で「読む」「書く」活動を意欲的に取り組むことで、中学生への円滑な接続をめざしています。

小学校外国語活動・外国語科の目標と各領域の内容

目標	3・4年（外国語活動）	5・6年（外国語科）
	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成することを目指す。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成することを目指す。
各領域の内容		
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近で簡単な英語を聞いておおよその内容がわかる。 ● 英語の発音を聞いてどの文字かわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近で簡単な英語を聞いて、必要な情報を聞き取る。 ● イラストや写真等を参考にしながら、短い話を聞いて、おおよその内容がわかる。
話すこと [やりとり]	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の考えや気持ちを伝え合ったり、質問したり答えたりする。 ● その場で簡単なやりとりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の考えや気持ちを伝え合ったり、質問したり答えたりする。 ● その場で短い会話をする。
話すこと [発表]	<ul style="list-style-type: none"> ● 実物やイラスト、写真等を見せながら、それについて相手に話したり、自分の考えや気持ちなどを伝えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近で簡単なことについて話したり、自分の考えや気持ちなどを相手に伝えたりする。
読むこと		<ul style="list-style-type: none"> ● 書かれたアルファベットや単語が何かわかり、発音する。 ● 慣れ親しんだ英文を読んで、必要な情報を得る。
書くこと		<ul style="list-style-type: none"> ● アルファベットの音を聞いて、その文字を書く。 ● 慣れ親しんだ語句や文を書き写す。 ● 自分のことについて紹介するために、例語の中から言葉を選んで書く。

小学校外国語科（5・6年）単元の学習の流れ

新教材「We Can!2」（6年生用）ユニット5「My Summer Vacation」を例にとると…

[参考：「小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック」（平成29年7月 文部科学省）]

※「内容」欄の太字は現行の指導内容に新たに追加されるもの

単元の見通しを持つ

新しい表現に出会う興味をもつ

聞く 話す
繰り返し聞いたり言ったり（まねたり）して、語句や表現に十分に慣れ親しむ。
慣れ親しんだ表現を使って、友だちと口頭で伝え合う。

活用する
相手意識をもって、慣れ親しんだ表現を使って伝え合う活動をする。

単元を振り返る

読む 書く
慣れ親しんだ語句や表現を黙読したり、声に出して読んだりする。 / 慣れ親しんだ語句や表現を選んで書いたり、書き写したりする。

- 単元目標
- 夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを言ったり聞いたりすることができる。（知識及び技能）
 - 過去の表現が分かり、夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを伝え合う。また、夏休みの思い出について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例を参考に自分の夏休みの思い出について話したことを、語順を意識しながら書いたりする。（思考力、判断力、表現力等）
 - 他者に配慮しながら、夏休みの思い出について伝え合おうとする。（学びに向かう力、人間性等）

- 【ポイント】
- ① 楽しみながら繰り返したくさん英語を聞き [聞く]、まねをして言ってみる、やりとりしてみる [話す] ことで音声に慣れ親しむ。
 - ② 英語での短いやりとりができるようになった言葉や表現と文字をリンクさせ、読んだり [読む]、書き写したり [書く] する。

	[第1時]	[第2時]	[第3時]	[第4時]	[第5時]	[第6時]	[第7時]	[第8時]	
各領域の活動（主なもの）	聞く 過去を表す表現と出会う	繰り返して聞き、慣れ親しむ（Small Talk）				目的をもって相手の話を聞く			
	話す 夏休みに行った場所を伝え合う	夏休みに行った場所とその感想を伝え合う	夏休みに行った場所と食べた物、その感想を伝え合う	夏休みに行った場所、楽しんだこと、食べ物とその感想を伝え合う	夏休みの思い出を伝え合う				
	読む 口頭で読む（例：I went to the sea.）	口頭で読む（例：I went to the sea. It was fun.）	口頭で読む（例：I ate pizza. It was delicious.）	口頭で読む（例：I enjoyed fishing. It was exciting.）	※本時は習った表現を聞いたり話したりする活動に重きを置いており「読む」活動の設定はない。	夏休みの思い出について書かれた英文を読む	友だちが書いた英語の日記を、誰のものか推測しながら読む		
	書く 下線部を選んで書き写す（例：I went to <u>the sea</u> .）	下線部を選んで書き写す（例：I went to <u>the sea</u> . It was <u>fun</u> .）	下線部を選んで書き写す（例：I ate <u>pizza</u> . It was <u>delicious</u> .）	下線部を選んで書き写す（例：I enjoyed <u>fishing</u> . It was <u>exciting</u> .）	アルファベット「s」を4線上に書く	※本時は夏休みの思い出を伝え合ったり英文を読んだりする活動に重きを置いており、「書く」活動の設定はない。	これまで書いてきた英文を見ながら書き写し、日記に清書する（例：I went to the sea. It was fun. I enjoyed fishing. It was exciting.）		

【読む活動では…】

- ・活字体で書かれた文字の形の違いを識別し、文字を見てその名称が発音できるようにさせる。
- ※「a」「A」を見て、文字の名称を正しく発音できるようにする。
- ・アルファベットの文字には、2種類（名称・音）があることに気付かせる。

【書く活動では…】

- ・大文字、小文字を活字体で書かせるときには、「a、c、e」、「f、l」、「g、y」など文字の高さの違いを意識させる。
- ・「p、q」「b、d」など紛らわしい形を意識させる。
- ・A、H、Iなどの左右対称の文字、C、J、K、kなどの大文字と小文字の形がほぼ同じ文字等、文字の形の特徴をとらえて指導する。

【Small Talkとは…】※あるテーマのもと、指導者のまもった話を聞いたり、ペアで自分の考えや気持ちを伝え合ったりすることです。自分自身の考えや気持ちを楽しみながら伝え合う中で、既習表現を繰り返し使用する機会を保障し、その定着を図るようにしましょう。

対話の始めの挨拶
Hello. / How are you? / I'm good. How are you? など
相手の話した内容に対して自分の感想を簡単に述べ、内容を理解していることを伝えること
That's good. / That's nice. / Really? / That sounds good. など
相手の話した内容についてより詳しく知るために、内容に関わる質問をすること
相手：I like fruits. 自分：What fruits do you like? など

相手の話した内容の中心となる語や文を繰り返して確かめること
相手：I went to Tokyo. 自分：(You went to) Tokyo. など
相手の話した内容が聞き取れなかった場合に再度の発話を促すこと
Pardon? / Once more, please. など
対話の終わりの挨拶
Nice talking to you. / You, too. など

※繰り返し読んだり書いたりして覚えさせる活動にならないようにしましょう。